

産学連携取組紹介

平成27年度

乳発菌を使用した健康維持が期待できるヨーグルト「notonoフローズンヨーグルト」						
本件連絡先						
機関名	石川県立大学	部署名	産学官連携学術交流センター	TEL	076-227-7566	E-mail
概要			図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>昨今、食品から健康維持効果を得るという社会的要請がかつてなく強まっており、食品の有用性が大きく注目されています。また、同時に地方分権・地域社会の活性化を主軸とした国土の再興も謳われつつあります。今回の成果物は、地域産の食品や伝統食品から分離した有用微生物を用いて開発したものであり、上記の両方の課題に資するものと考えています。</p> <p>・成果</p> <p>石川県立大学、石川県工業試験場、柳田食産株式会社、株式会社ホリ乳業、有限会社もんでえすが協力し、本製品が開発されました。使用されている乳酸菌 <i>Lactobacillus plantarum</i> ANP7-1株は、能登産のあじなれずしから分離された菌であり、地方特産のユニークなプロバイオティクス乳酸菌を含む食品の開発に成功しました。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>常に関係者が密に連携し、数十回に及び会合を重ねて意見交換と方針決定を繰り返したことが目的の共有化につながったと考えています。途中乳酸菌の生育と発酵度合の関連で何度も方針転換が必要になりましたが、関係者間の信頼関係を軸にして常に前向きな原動力が生まれ、成功につながりました。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>地域イノベーションクラスタープログラム（都市エリア型）（文部科学省）による大型プロジェクト資金を本学を基軸に獲得し、そのプロジェクト終了後も関係者が連携を絶やさず製品開発の模索を行い続けたことがきっかけとなりました。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>菌株の使用等に関するライセンスや知財使用の関連事項が事業化において一番の懸念事項となりました。本学は開学後約10年の若い大学であるため、成果有体物の使用規定が開発時点で精密化されておらず、企業における菌株使用においてどのようにしたらよいか当事者同士で戸惑う場面が多くありました。</p>			 			
概要			図・写真・データ			
<p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>あじなれずしという全国的にあまり知られていない伝統水産発酵食品に由来する乳酸菌と、能登産のブルーベリーなどの果実を組み合わせることにおいて、地域から発信する食品として新機軸を確立したと考えています。</p>			<p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p>石川県立大学 http://www.ishikawa-pu.ac.jp/</p>			

平成26年度

「新しい高品質濃縮法—界面前進凍結濃縮法の開発」

(石川県立大学)

界面前進凍結濃縮法は冷却面から唯一の巨大氷結晶を成長させて凍結濃縮を行う方法で、多数の微細な氷結晶を時間をかけて成長させる従来法の懸濁結晶法と比較するとシステムが単純化する。このため、コスト低下とフレキシビリティの高い操作ができるようになり、これまで、凍結濃縮を適用することができなかったいろいろな素材に適用が可能であり、これまでに存在しない高品質食品新素材の開発が可能となる。本技術は汎用技術であり、果汁・野菜汁、緑茶・コーヒーなどの嗜好性飲料、調味液、天然香気成分などの高品質濃縮が可能となる。その他、高アルコール濃縮の日本酒、いろいろな果汁から補糖不要の本格ワイン生産などへの応用を現在試みている。



氷結晶部分融解装置を組み込んだ界面前進凍結濃縮法統合システム

公立 前橋工科大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	69 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	30	44	位 / 国公立
	受入額	23,326	32,554	位 / 国公立
民間企業のみ	件数	27	39	位 / 国公立
	受入額	22,367	24,902	位 / 国公立
大企業のみ	件数	9	9	位 / 国公立
	受入額	8,022	5,487	位 / 国公立
中小企業のみ	件数	18	30	位 / 国公立
	受入額	14,345	19,415	位 / 国公立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	10	10	
	受入額	19,957	6,552	
民間企業のみ	件数	-	2	
	受入額	-	1,662	
大企業のみ	件数	-	-	
	受入額	-	-	
中小企業のみ	件数	-	2	
	受入額	-	1,662	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

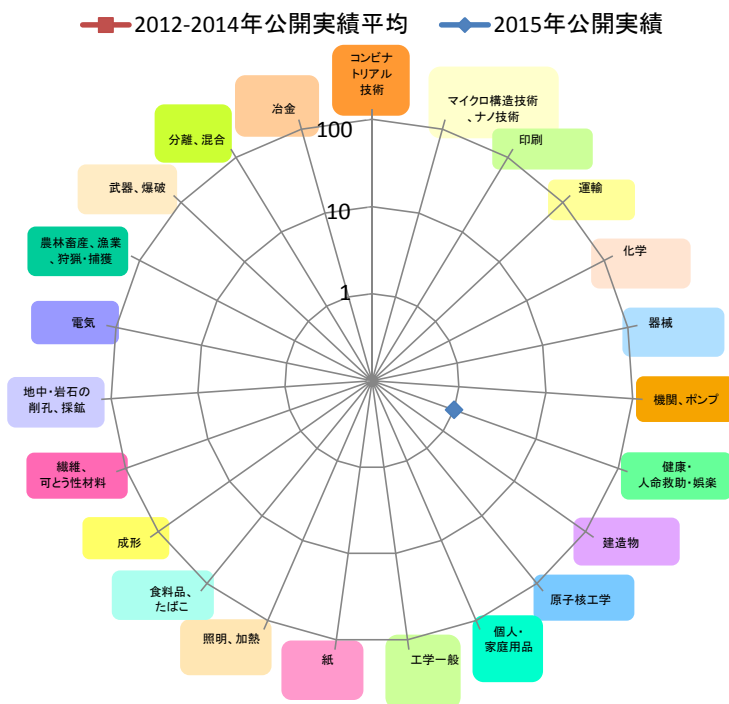
特許出願件数	3
特許保有件数	0

特許権実施等件数	0
特許権実施等収入	0

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学;衛生学	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



公立 公立はこだて未来大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	76 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	12	23	位 / 国公立
	受入額	17,326	31,002	位 / 国公立
民間企業のみ	件数	11	17	位 / 国公立
	受入額	14,026	17,879	位 / 国公立
大企業のみ	件数	7	12	位 / 国公立
	受入額	10,681	9,104	位 / 国公立
中小企業のみ	件数	4	5	位 / 国公立
	受入額	3,345	8,775	位 / 国公立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	11		
	受入額	63,461		
民間企業のみ	件数	3		
	受入額	26,028		
大企業のみ	件数	3		
	受入額	26,028		
中小企業のみ	件数	-		
	受入額	-		
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	1	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

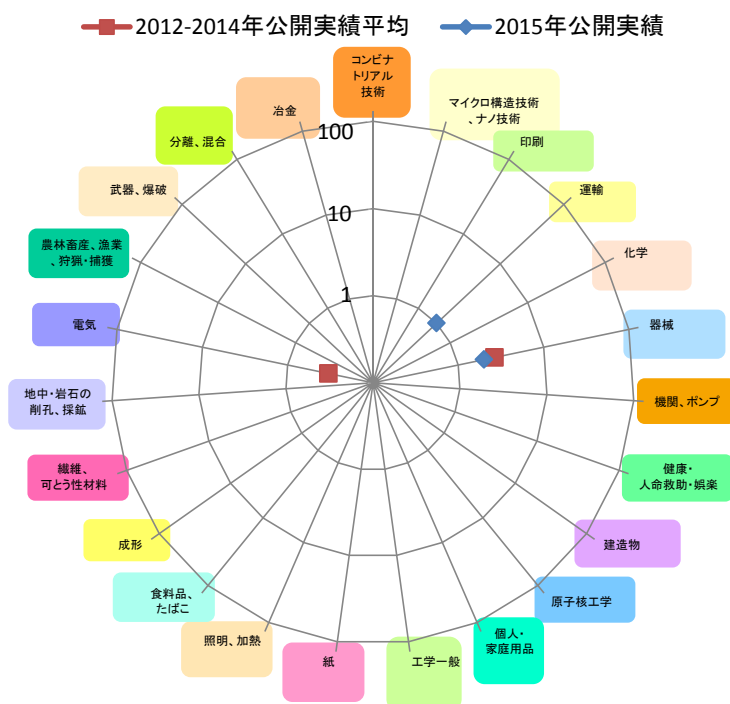
特許出願件数	2
特許保有件数	16

特許権実施等件数	2
特許権実施等収入	200

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	2
2	B62	鉄道以外の路面車両	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



公立 高知県立大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	130 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数		
	受入額		
民間企業のみ	件数		
	受入額		
大企業のみ	件数		
	受入額		
中小企業のみ	件数		
	受入額		
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	

位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数	2	3
	受入額	3,969	5,177
民間企業のみ	件数	-	-
	受入額	-	-
大企業のみ	件数	-	-
	受入額	-	-
中小企業のみ	件数	-	-
	受入額	-	-
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-

(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

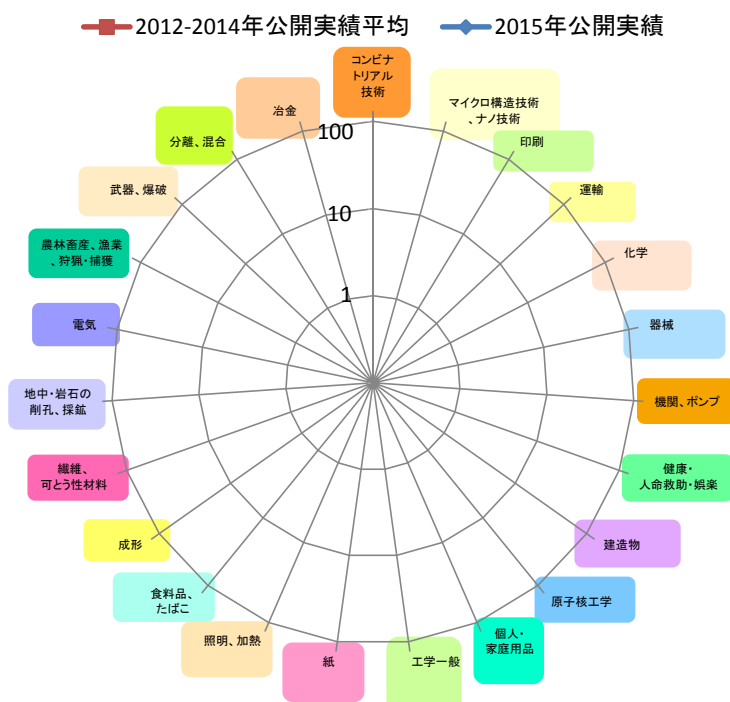
特許出願件数	1
特許保有件数	0

特許権実施等件数	0
特許権実施等収入	0

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数

技術分類別出願分布(公開日ベース)



公立 青森県立保健大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	105 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数		
	受入額		
民間企業のみ	件数		
	受入額		
大企業のみ	件数		
	受入額		
中小企業のみ	件数		
	受入額		
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	

位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数	4	3
	受入額	10,255	6,600
民間企業のみ	件数	-	-
	受入額	-	-
大企業のみ	件数	-	-
	受入額	-	-
中小企業のみ	件数	-	-
	受入額	-	-
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-

(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

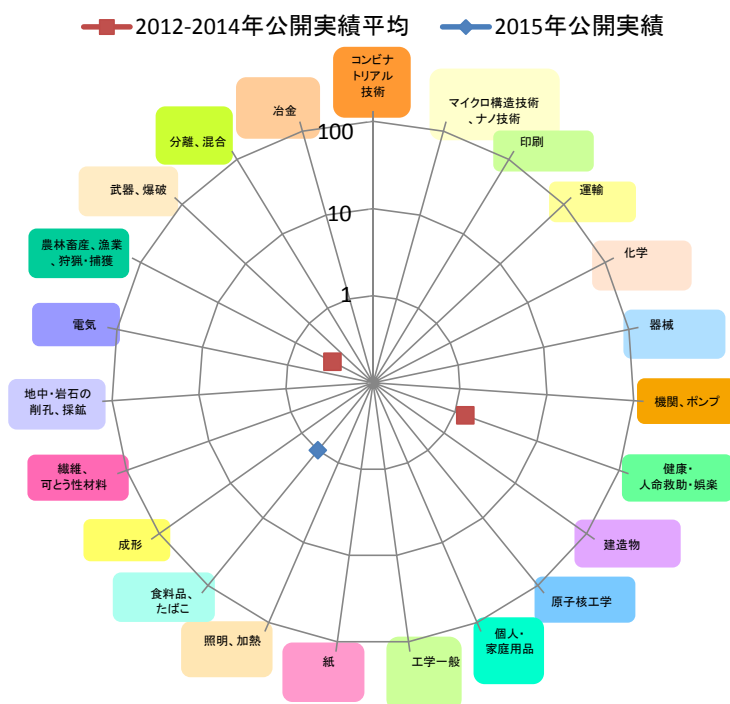
特許出願件数	1
特許保有件数	5

特許権実施等件数	3
特許権実施等収入	4

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A23	食品・食料品等	1

技術分類別出願分布(公開日ベース)



公立 長岡造形大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	47 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数		
	受入額		
民間企業のみ	件数		
	受入額		
大企業のみ	件数		
	受入額		
中小企業のみ	件数		
	受入額		
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	

位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立
位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度
全体	件数	8	15
	受入額	4,761	10,455
民間企業のみ	件数	2	5
	受入額	582	1,880
大企業のみ	件数	-	1
	受入額	-	111
中小企業のみ	件数	2	4
	受入額	582	1,769
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-

(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

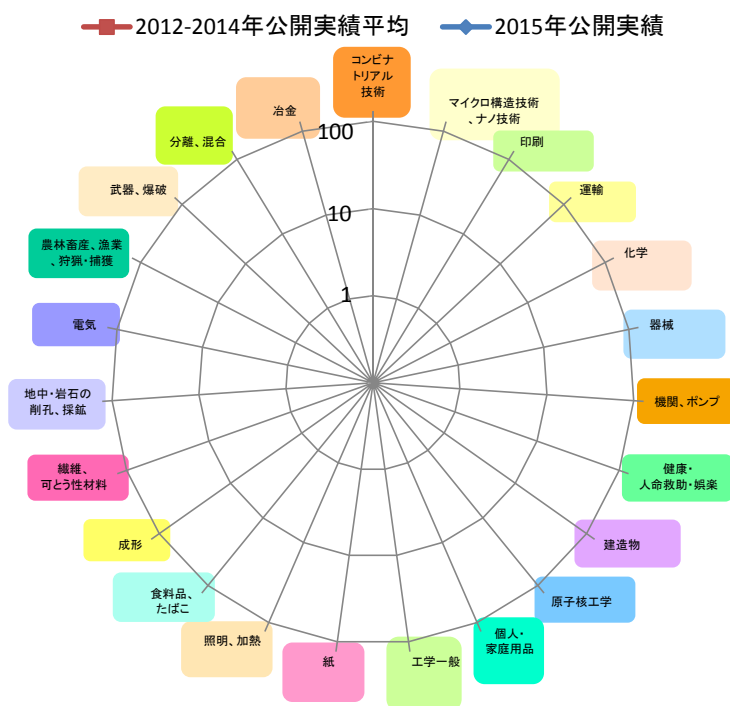
特許出願件数	1
特許保有件数	0

特許権実施等件数	0
特許権実施等収入	0

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成26年度

「マイクロ水力発電設備の研究開発事業」

(長岡造形大学)

環境設備や雪上車など幅広い製品製造を手がける株式会社大原鉄工所(長岡市)が、水路を利用した省エネルギー型の小水力発電設備の開発プロジェクトにおいて長岡造形大学が機構、外装、安全対策、環境対応へのデザイン提案・コンサルティング業務を行った。

本プロジェクトは長岡市が地域産業のエネルギー分野への進出促進を図る目的で助成する「長岡市新エネルギー開発支援補助金」の採択を受け、3か年にわたり産学官が協働して開発に取り組んでいる。



全体図

産学連携取組紹介

平成26年度

「北九州市立大学ブランド商品『Bambreadシリーズ：合馬のファイバーらすく』」

(北九州市立大学)

『Bambread シリーズ：合馬のファイバーらすく』は、森田研究室において、北九州市の小倉南区合馬地区などで問題となっている放置竹林対策として竹の新たな用途を「竹を食べる」という着眼点から研究開発し、クラウン製パン、セイシン企業、北九州市など共に商品化した産学官連携商品です。竹の食物繊維は94%と一般の野菜類の2倍以上の高さであることから、本研究開発により竹の食物繊維強化剤として利用が可能となりました。

本開発品は「大学ブランド商品」として、ロゴデザインについても、本学学生から公募し応募総数96点の中から選ばれた3点が一部包装紙に採用されています。オール北九州で創出した産学官連携食品です。



Bambread シリーズ：合馬のファイバーらすく

平成26年度

組織的産学連携活動の取組事例

組織的産学連携活動の取組事例					
広域大学知的財産アドバイザー派遣事業(医歯食工連携による知的財産ネットワーク(NW))	<table border="1"> <tr> <td>機関名</td> <td>北九州市立大学</td> </tr> <tr> <td>産連本部名等</td> <td>産学連携委員会</td> </tr> </table>	機関名	北九州市立大学	産連本部名等	産学連携委員会
機関名	北九州市立大学				
産連本部名等	産学連携委員会				
<p>概要</p> <p>・事業概要: 独立行政法人工業所有権・情報研修館(以下「情報・研修館」という。))が、広域大学知的財産アドバイザー(以下「広域大学AD」という。))を広域ネットワークに派遣して、地域または技術分野等の特徴を踏まえた広域ネットワークとしての知的財産に関する課題解決のための支援、参加する大学等の知的財産管理体制構築・運用の支援をすることにより、知的財産を核とする産学官連携推進の基礎を築き、我が国のイノベーション創出に資することを目的とする。</p> <p>・本学の事業参画の目的 本学の知的財産管理体制について、これまでの北九州TLO100%依存型から、自主管理下でのTLO活用型体制構築を目指す。</p> <p>・平成26年度に実施した主な活動: ①事業に参画している大学間で研究シーズ・ニーズを紹介し合い、マッチングに取り組んだ。 ②アドバイザーの支援を受けながら産学連携関連規程の改正検討(共同研究取扱規程、知的財産管理規程、産学連携委員会規程等) ③本事業における勉強会等を教員に周知し、教員の知的財産に関する知識等について、啓発を行った。 ④アドバイザーによる学内勉強会の開催により知的財産担当事務職員のスキルが向上した。</p>	<p>体制図等</p> <p style="text-align: center;">医歯食工連携による知的財産ネットワークが目指すもの</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">加入校</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(加入校1) 九州工業大学(幹事校) 産業医科大学、北九州市立大学</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(加入校2) 九州歯科大学、西日本工業大学、北九州工業高等専門学校、中村学園大学、久留米大学</p> </div> </div>				

公立 金沢美術工芸大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	56 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	2	1	位 / 国公立
	受入額	3,620	2,000	位 / 国公立
民間企業のみ	件数	2	1	位 / 国公立
	受入額	3,620	2,000	位 / 国公立
大企業のみ	件数	-	1	位 / 国公立
	受入額	-	2,000	位 / 国公立
中小企業のみ	件数	2	-	位 / 国公立
	受入額	3,620	-	位 / 国公立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	5	7	
	受入額	7,040	11,984	
民間企業のみ	件数	3	7	
	受入額	6,724	11,984	
大企業のみ	件数	3	7	
	受入額	6,724	11,984	
中小企業のみ	件数	-	-	
	受入額	-	-	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

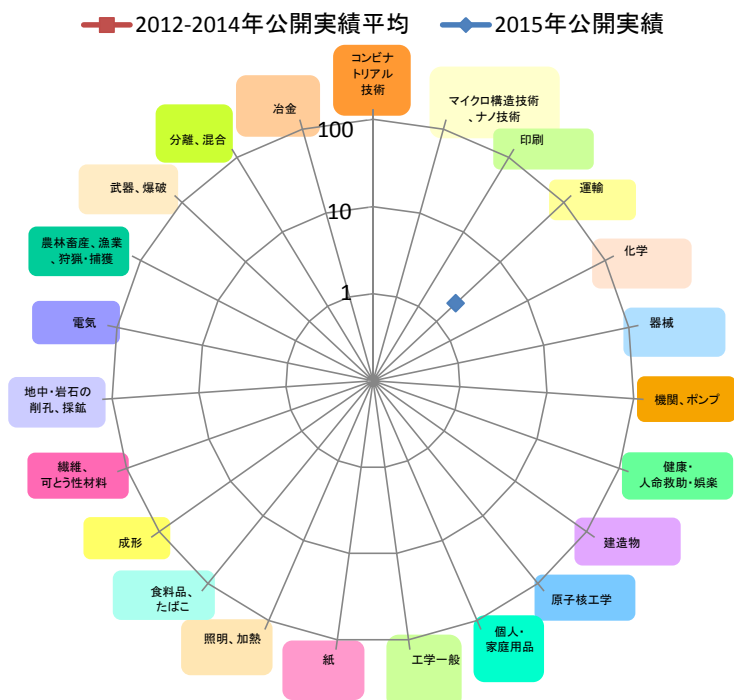
特許出願件数	0
特許保有件数	0

特許権実施等件数	1
特許権実施等収入	0

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	B65	運搬、包装、貯蔵、薄板状・線条材料の取扱い	2

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成26年度

「兼六園ガイドのユニフォーム・デザインプロジェクト」

(金沢美術工芸大学)

平成27年・春の北陸新幹線開業に合わせて、石川県の観光名所である兼六園ガイドのユニフォームを30年ぶりに一新することになり、総勢40名のガイドが着用するユニフォーム一式のデザイン依頼を受けた。依頼により春夏物と秋冬物の2種類のコーディネート提案した。

大勢の観光客の中にも一見してガイドと分かり、なおかつ、兼六園の風景に調和し映える「兼六園らしい」デザインを目指した。ガイドや関係者からのヒアリングを重ね、年齢や体型を問わず女性が素敵に見えるデザインを実現した。



着脱可能なポシェット



春用九谷焼ブローチ(梅)

公立 産業技術大学院大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	20名以上30名未満
研究者数	33 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	5	1	位 / 国公私立
	受入額	6,760	500	位 / 国公私立
民間企業のみ	件数	5	1	位 / 国公私立
	受入額	6,760	500	位 / 国公私立
大企業のみ	件数	4	1	位 / 国公私立
	受入額	6,260	500	位 / 国公私立
中小企業のみ	件数	1	-	位 / 国公私立
	受入額	500	-	位 / 国公私立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公私立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	2	3	
	受入額	1,324	2,324	
民間企業のみ	件数	2	3	
	受入額	1,324	2,324	
大企業のみ	件数	2	3	
	受入額	1,324	2,324	
中小企業のみ	件数	-	-	
	受入額	-	-	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

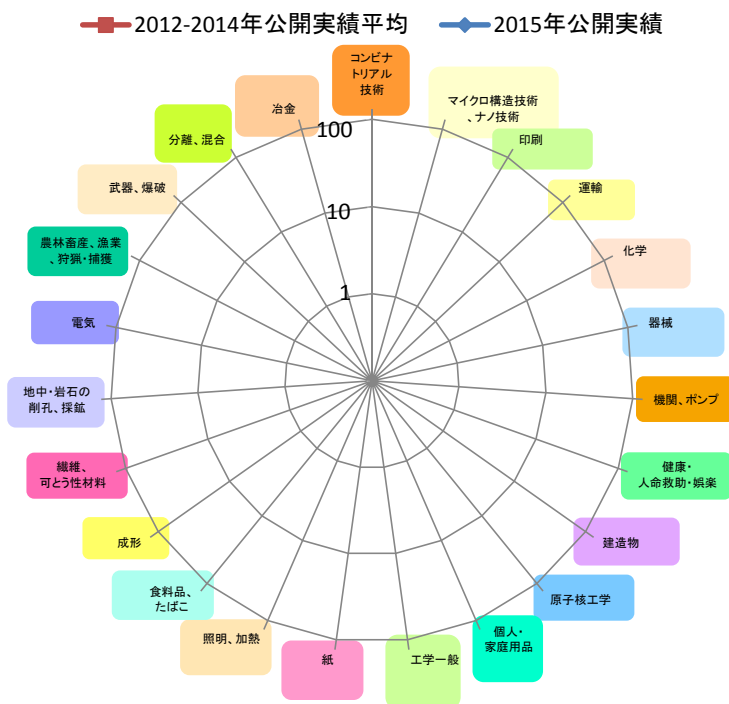
特許出願件数	0
特許保有件数	6

特許権実施等件数	0
特許権実施等収入	0

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数

技術分類別出願分布(公開日ベース)



公立 静岡文化芸術大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	96 (人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	2	6	位 / 国公私立
	受入額	1,100	4,237	位 / 国公私立
民間企業のみ	件数	2	3	位 / 国公私立
	受入額	1,100	2,040	位 / 国公私立
大企業のみ	件数	2	3	位 / 国公私立
	受入額	1,100	2,040	位 / 国公私立
中小企業のみ	件数	-	-	位 / 国公私立
	受入額	-	-	位 / 国公私立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公私立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	1	4	
	受入額	1,202	3,528	
民間企業のみ	件数	-	2	
	受入額	-	1,026	
大企業のみ	件数	-	-	
	受入額	-	-	
中小企業のみ	件数	-	2	
	受入額	-	1,026	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	(金額:千円)

2015年度 特許関係実績 (金額:千円)

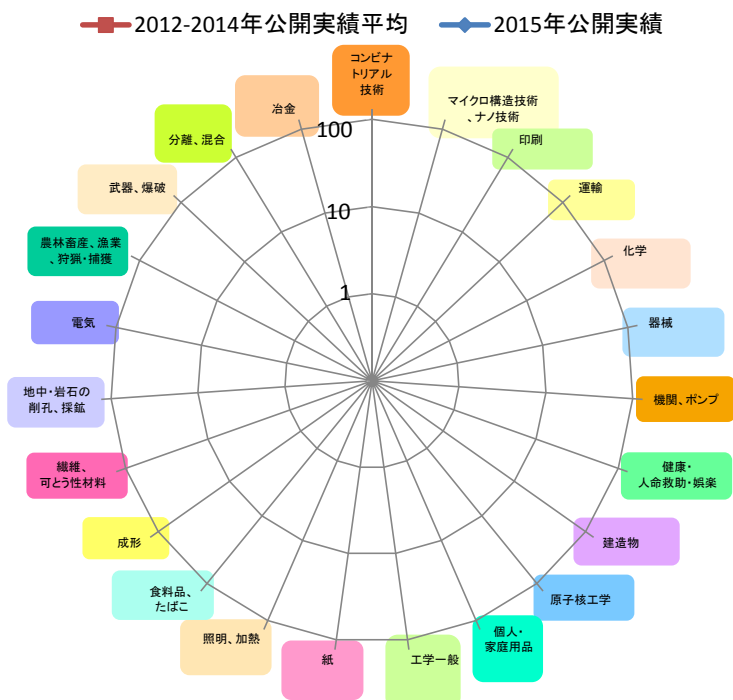
特許出願件数	0
特許保有件数	2

特許権実施等件数	2
特許権実施等収入	0

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成26年度

「脳卒中による麻痺を改善する「2筋同時電気刺激装置」の開発と商品化」

(大分県立看護科学大学)

脳卒中患者等の手足の麻痺を改善するために、複数の筋に同時に電気刺激を与える国内初の機能をもったリハビリ用電気刺激装置を開発・商品化した。従来の筋電図誘発型電気刺激装置では、重症者では電気信号が微弱で検知できなかったため、利用できなかった。また、手首等、1箇所しか刺激できなかったため、複数の筋を使う日常動作のリハビリができなかった。通常、回復が困難とされる慢性期脳卒中患者を対象とした臨床実験の結果、麻痺手の動作の速度と精巧さの改善、日常生活における使用頻度の向上が認められた。今年度からは全国展開し、年間4億円の売上げを目指す。



2筋同時電気刺激装置

公立 愛知県立大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	0名以上10名未満
研究者数	231 (人)

- 0名以上10名未満
- 10名以上20名未満
- 20名以上30名未満
- 30名以上50名未満
- 50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	11	13	位 / 国公私立
	受入額	11,713	13,560	位 / 国公私立
民間企業のみ	件数	9	10	位 / 国公私立
	受入額	9,463	10,372	位 / 国公私立
大企業のみ	件数	8	10	位 / 国公私立
	受入額	8,863	10,372	位 / 国公私立
中小企業のみ	件数	1	-	位 / 国公私立
	受入額	600	-	位 / 国公私立
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公私立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	3	5	
	受入額	4,492	5,573	
民間企業のみ	件数	1	2	
	受入額	540	1,573	
大企業のみ	件数	-	-	
	受入額	-	-	
中小企業のみ	件数	1	2	
	受入額	540	1,573	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	(金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

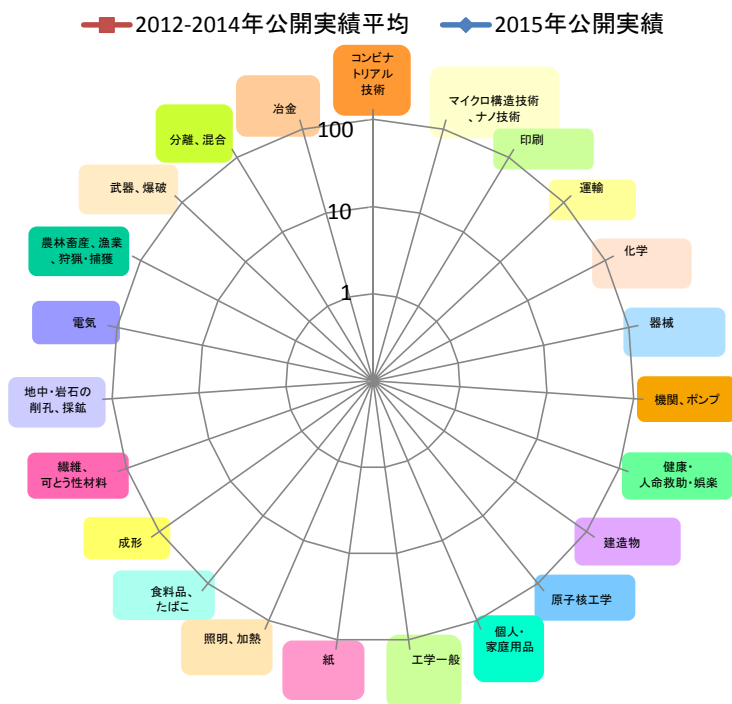
特許出願件数	
特許保有件数	

特許権実施等件数	
特許権実施等収入	

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数

技術分類別出願分布(公開日ベース)



産学連携取組紹介

平成27年度

ガジャマダ大学との産学連携プロジェクト							
本件連絡先							
機関名	愛知県立大学	部署名	戦略企画室	TEL	0561-76-8636	E-mail	kkawa@pu.ac.aichi-pu.ac.jp
概要				体制図等			
<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本取組を実施することになったきっかけ、要因 愛知県立大学は、2010年にインドネシアのガジャマダ大学(在ジョグジャカルタ特別州)と学術交流協定を締結し、その翌年から相互に学生の交換などを実施してきた。同大学との連携を通じて、2013年度から在インドネシア日系企業5社の参加と協力のもと、日系企業で活躍できる人材の育成教育プログラムを企画、実施した。 ・本取組の目的(どのような課題解決を目指しているか) 卒業をひかえたガジャマダ大学の優秀学生を対象に、日本語再教育、在インドネシア日系企業でのインターンシップ、愛知県内企業での短期研修を含む一連の教育プログラムを実施し、日系企業で活躍できる人材を輩出するとともに、インドネシアと日本との友好関係を促進する。 ・本取組を立案する際に、特に注意した点 教育プロジェクトを企画・開発・実施するにあたり、ガジャマダ大学、在インドネシア日系企業、愛知県立大学の関係者双方の視点から提案を出し、理解を分かち合い、粘り強く検討を続けていくこと。この理解を基にしてこそ、良好な協力関係と相互の本来の利益を生むことが可能であった。 ・平成27年度に実施した内容 インドネシアガジャマダ大学での大村知事講演会、およびPT、TOYOTA MOTERMANUFACTURING INDONESIA社長講演会、ガジャマダ大学での日本語再教育、在インドネシア日系企業でのインターンシップ、愛知県内企業での短期研修 ・従来の取組との違いや特徴 インドネシアと愛知県との交流を深め、インドネシア政府との関係強化のために大村知事が2015年10月にインドネシアを訪問した際、ガジャマダ大学学生約200名を対象に講演会を開催し、本プロジェクトの基盤となる愛知県の経済や観光における政策について説明した。 				<p>体制図等</p> <p style="text-align: center;">産官学連携プロジェクトの仕組み</p> <p>愛知県立大学 プロジェクトリーダー 宇長 ガジャマダ大学 プロジェクト建設部 政治学部 学部長 政治学部 キャリア支援センター長 各学部キャリア・国際スタッフ学生との協力体制</p> <p>MOU締結</p> <p>在インドネシア日系企業 寄付金 セミナー・研修派遣、 派遣実務研修、 短期インターン シップ研修</p> <p>研究支援・地域連携 派遣、研修等、プログラム 実施に際する各々の役割</p> <p>企業、人々の関係、 プロジェクトコーディネート、 インターンシップ等の調整</p> <p>国際交流室 プログラムの実施に際する 在ガジャマダ大学の 連携</p> <p>専任職員 コーディネーター</p>			
<p>ガジャマダ大学での大村知事講演会</p>				<p>大村知事、ガジャマダ大学、愛知県立大学 本プロジェクトでの面談</p>			

公立 愛媛県立医療技術大学

産学連携の実務担当者数 (教職員、コーディネーター、URA等)	
研究者数	(人)

0名以上10名未満
10名以上20名未満
20名以上30名未満
30名以上50名未満
50名以上

共同研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数	2	1	位 / 国公立
	受入額	1,000	1,005	
民間企業のみ	件数	2	1	位 / 国公立
	受入額	1,000	1,005	
大企業のみ	件数	2	1	位 / 国公立
	受入額	1,000	1,005	
中小企業のみ	件数	-	-	位 / 国公立
	受入額	-	-	
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数	-	位 / 国公立

受託研究実績(機関別)		2014年度	2015年度	
全体	件数			
	受入額			
民間企業のみ	件数			
	受入額			
大企業のみ	件数			
	受入額			
中小企業のみ	件数			
	受入額			
受入額1千万円以上の民間企業との実施件数		件数		(金額: 千円)

2015年度 特許関係実績 (金額: 千円)

特許出願件数	
特許保有件数	

特許権実施等件数	
特許権実施等収入	

出願数上位技術分野(2015年公開)

順位	IPC	分野	件数

技術分類別出願分布(公開日ベース)

